

松本 まさない News

NO. 50

発行日 2011.7

発行元

形原町北淀尻19-15

市議会議員

松本まさない事務所

TEL・FAX

57-6999

URL <http://www.sk.aitai.ne.jp/~kom-14/>

蒲郡市議会6月定例会が6月10日開会され、蒲郡市国民健康保険税条例の一部改正など議案9件を可決し、6月22日閉会しました。

今回の議会では新人議員を含む18人が一般質問に立ち、その中でも11人が防災に関する質問を行いました。

3. 11東日本大震災を受けて市民の皆様からも地震対策、津波対策に対して多くの関心が寄せられています。

これらを教訓として、蒲郡市においてもより一層防災対策に取り組む事が求められています。益々、研鑽して頑張って参ります。



6月市議会での防災に関する話題 (市の答弁から)

- ◆国は、東海・東南海・南海の3連動地震の被害想定を見直すと発表。県の防災計画もそれにあわせ、修正されるものと思われ、市の防災計画、各種マニュアル等を見直しをしていく。
- ◆津波の想定は東海・東南海地震連動の場合で、蒲郡市までの到達時間は50~90分、津波の高さは最大2、2m程度。3連動の場合には、より大きな津波が、5~10分ほど早く到達する。
- ◆標高10mの等高線ラインを追加したハザードマップの再配布を予定している。
- ◆海拔の低い施設の津波対策は避難の仕方など、ソフト面での対応を考えていきたい。それぞれの地域でハザードマップを作成したり、避難訓練を行ったりして、地域の防災力を高めていかなければならない。津波避難ビルの指定についての協定はすすめていきたい。



多賀城市ボランティアセンターにて

6月25日(土)宮城県多賀城市において、防災ボランティアとして活動に参加してきました。

被災地では3ヶ月以上が過ぎ、一般のボランティアによる作業は少なくなっていました。

小雨が降る中、側溝の泥出しなどに全国からボランティアの参加があり、私は避難所から仮設住宅への引っ越しを手伝いました。移動の車中から見た瓦礫の山の量の多さに大変驚きました。

多賀城市災害ボランティアセンターのメンバーによる献身的な活動が印象的でした。



多賀城市の仮設住宅

26日(日)に名取市の被災状況を視察しました。悲惨な状況を目前に防災対策の必要性を痛感しました。(右は名取市の被災現場。)

